



114年の間、一度も休まず続く豊郷神楽の奉納（毎年8月1日）

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

網走市豊郷神楽保存会

【網走市】

明治の姿を今に、豊郷神楽の伝承

【はじまりは？】

網走市豊郷地区に伝承される豊郷神楽は、明治42年（1909年）に第一西藻琴神社（豊郷神社の前身）に奉納して以来、開拓者の精神を受け継ぎ農業生産の意欲高揚と、地域の人たちの心の安らぎとして、戦時中も途切れることなく継続し、令和5年で114年目を迎えます。本会では、明治42年から豊郷神社に奉納している神楽を伝承し、これを後世に保存継承することを目的に継続した活動を行っています。

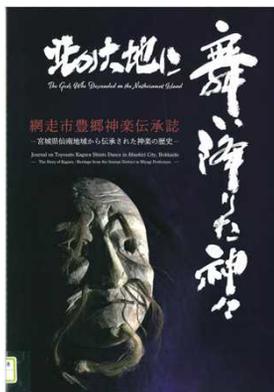
【おもな活動】

毎年8月1日に行われる豊郷神社祭の宵宮に境内神楽殿にて神楽を奉納しています。

神楽保存継承のため、集落出身の農家の長男に限定されていた踊りの継承者を、男女問わず市外在住者まで広げ、毎年4月から

7月末まで、豊郷公民館において練習を行っています。

市内小学校では、総合的な学習の時間において伝統芸能継承のための教育を継続しています。また、郷土芸能として地域住民の理解を得るために、地域内外の祭りやイベントに積極的に参加し、神楽を披露しています。



令和2年に出版した伝承誌

【ここが自慢】

開拓者の精神を受け継ぎ、厳しい農村環境の中で農業生産の意欲高揚と、地域の人たちの心の安らぎとして継続されてきた豊郷神楽は、100年以上前から、戦時中も絶やすことなく神楽を奉納することにより、昔ながらの神社境内での祭りの景観を継承しています。

神楽の踊り手は豊郷集落の農家の長男に限定されていたことから、100年目の記念講演時には13名と存続の危機に直面したため、会員の対象者を男女や市内在住を問わず広げて募集し、小学校の授業で踊りを習った経験のある中高生も含めて、合同で神楽を継承しています。地域の芸能祭や姉妹友好都市との交流時など、地域内外と積極的に交流することにより認知度を上げ、郷土芸能として広く市民に理解されてきました。



様々な担い手による神楽の伝承

連絡先

代表者名：井上 利則さん／設立：S40年／会員：36名

住所：網走市宇豊郷238番地の4 豊郷公民館気付

電話番号：090-7653-3977（事務局長：鈴木）

F A X :

E-mail :

U R L :